



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

コード番号 4733 URL <http://www.obc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 成史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 和田 弘子

TEL 03-3342-1881

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	15,836	13.3	6,480	12.2	7,554	2.4	4,936	6.9
27年3月期第3四半期	13,980	3.3	5,773	4.0	7,374	△3.8	4,619	△1.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	131.36	—
27年3月期第3四半期	122.92	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	105,594	92,282	87.4	2,455.49
27年3月期	105,207	90,994	86.5	2,421.21

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 92,282百万円 27年3月期 90,994百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
28年3月期	—	30.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	16.0	10,200	19.2	11,700	11.8	7,800	21.4	207.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	40,352,000 株	27年3月期	40,352,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	2,769,779 株	27年3月期	2,769,718 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	37,582,243 株	27年3月期3Q	37,582,355 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用状況の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとする海外景気の下振れによる影響も予想され、先行きは不透明な状況にあります。

当社の属する情報サービス産業においては、今後実施が予定されている法改正への対応などによる需要の掘り起こしが課題となっております。これらに対しITを活用して安全かつ確実に課題解決を実現するサービスを提供していくことが求められております。

このような経済環境のもと、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、また、業務用パッケージソフトウェアのメーカーとしての役割を認識し、企業の業務とユーザーの「使いやすさ」にフォーカスした製品開発及びサポート体制の構築に注力してまいりました。

主な施策といたしまして、10月初旬より全国主要都市にて「奉行フォーラム2015」を開催いたしました。「あなたの知らない業務効率化がここにあります」をテーマに、主にマイナンバー制度やストレスチェックに関する直前対策を柱に、幅広い情報提供を行ってまいりました。

また、マイナンバー制度については、専門家によるセミナーや勉強会、相談会を積極的に開催し、既存のユーザーにとどまらず、新規導入を検討中の企業担当者へも幅広く営業活動を行ってまいりました。

このような活動の結果、当第3四半期累計期間における業績は次のとおりとなりました。

売上高は158億36百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は64億80百万円（同12.2%増）、経常利益は75億54百万円（同2.4%増）、四半期純利益49億36百万円（同6.9%増）となりました。

なお売上高が前年同四半期比13.3%増加した主な要因は、マイナンバー制度の実務に対応した製品への需要が高まり、プロダクト売上が増加したこと、またこれにより、保守契約や指導料等のサービス売上が増加したことによるものであります。営業利益が同12.2%増加、経常利益が同2.4%増加、四半期純利益が同6.9%増加した主な要因についても、売上高の増加が寄与したことによるものであります。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は717億76百万円となり、前事業年度末に比べ63億47百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が65億37百万円、受取手形が4億20百万円それぞれ増加、売掛金が13億26百万円減少したことによるものであります。

固定資産は338億18百万円となり、前事業年度末に比べ59億59百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が60億16百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,055億94百万円となり、前事業年度末に比べ3億87百万円増加いたしました。

##### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は101億37百万円となり、前事業年度末に比べ3億99百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が4億42百万円、未払消費税等が3億20百万円それぞれ減少、前受収益が4億27百万円増加したことによるものであります。固定負債は31億74百万円となり、前事業年度末に比べ5億円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が5億77百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は133億11百万円となり、前事業年度末に比べ9億円減少いたしました。

##### （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は922億82百万円となり、前事業年度に比べ12億87百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が27億56百万円増加、その他有価証券評価差額金が14億68百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は87.4%（前事業年度末は86.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は646億20百万円となり、前事業年度末と比較して65億37百万円の増加となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、56億41百万円（前年同期は30億19百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益75億53百万円、売上債権の増減額9億6百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額27億72百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、30億77百万円（前年同期は4億51百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入33億10百万円等であり、主なマイナス要因は、無形固定資産の取得による支出1億7百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、21億80百万円（前年同期は19億92百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額21億80百万円等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年10月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,092,441	64,630,262
受取手形	1,058,866	1,479,399
売掛金	5,705,756	4,379,044
有価証券	—	861,830
商品及び製品	144,167	153,073
仕掛品	1,394	1,852
原材料及び貯蔵品	57,781	70,453
前払費用	81,052	76,982
繰延税金資産	277,410	113,320
未収入金	5,216	5,282
その他	12,599	14,210
貸倒引当金	△7,731	△9,403
流動資産合計	65,428,955	71,776,308
固定資産		
有形固定資産	363,886	367,936
無形固定資産	503,404	472,128
投資その他の資産		
投資有価証券	37,981,715	31,965,066
関係会社株式	16,093	16,093
関係会社出資金	345,848	345,848
敷金及び保証金	531,575	615,531
会員権	39,780	39,780
破産更生債権等	5,568	6,196
貸倒引当金	△9,718	△10,346
投資その他の資産合計	38,910,862	32,978,169
固定資産合計	39,778,152	33,818,233
資産合計	105,207,108	105,594,541

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	307,431	168,506
未払金	459,741	526,421
未払費用	611,300	564,938
未払法人税等	1,076,171	633,980
未払消費税等	517,897	197,048
預り金	59,369	128,122
前受金	—	13,000
前受収益	7,447,508	7,875,185
役員賞与引当金	52,400	27,400
その他	5,769	2,992
流動負債合計	10,537,590	10,137,597
固定負債		
繰延税金負債	2,454,597	1,876,771
退職給付引当金	1,124,056	1,200,597
資産除去債務	96,158	96,993
固定負債合計	3,674,811	3,174,363
負債合計	14,212,401	13,311,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	56,510,476	59,267,341
自己株式	△5,348,014	△5,348,339
株主資本合計	80,630,730	83,387,270
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,363,977	8,895,310
評価・換算差額等合計	10,363,977	8,895,310
純資産合計	90,994,707	92,282,580
負債純資産合計	105,207,108	105,594,541

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
売上高	13,980,513	15,836,580
売上原価	2,116,256	2,428,096
売上総利益	11,864,256	13,408,484
販売費及び一般管理費	6,090,760	6,927,906
営業利益	5,773,496	6,480,578
営業外収益		
受取利息	2,357	2,656
有価証券利息	27,245	39,824
受取配当金	1,294,863	687,018
投資有価証券売却益	—	92,247
投資事業組合運用益	192,310	232,135
その他	84,719	22,398
営業外収益合計	1,601,496	1,076,281
営業外費用		
その他	93	2,628
営業外費用合計	93	2,628
経常利益	7,374,899	7,554,231
特別利益		
投資有価証券売却益	68,438	—
特別利益合計	68,438	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	431
特別損失合計	—	431
税引前四半期純利益	7,443,338	7,553,799
法人税、住民税及び事業税	2,274,374	2,330,097
法人税等調整額	549,160	287,065
法人税等合計	2,823,534	2,617,163
四半期純利益	4,619,804	4,936,636

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	7,443,338	7,553,799
減価償却費	148,728	193,358
退職給付引当金の増減額（△は減少）	70,995	76,541
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△25,000	△25,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△16,500	2,300
受取利息及び受取配当金	△1,324,467	△729,499
投資有価証券売却損益（△は益）	△68,438	△92,247
投資有価証券評価損益（△は益）	—	431
投資事業組合運用損益（△は益）	△192,310	△232,135
売上債権の増減額（△は増加）	2,572,075	906,178
たな卸資産の増減額（△は増加）	13,616	△22,035
前払費用の増減額（△は増加）	10,168	4,070
仕入債務の増減額（△は減少）	△162,058	△138,924
未払消費税等の増減額（△は減少）	157,356	△320,849
未払費用の増減額（△は減少）	△317,587	△46,361
前受収益の増減額（△は減少）	△1,431,631	427,677
その他	220,721	123,913
小計	7,099,005	7,681,218
利息及び配当金の受取額	1,325,867	732,071
法人税等の支払額	△5,404,905	△2,772,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,019,968	5,641,001
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△126,582	—
投資有価証券の売却による収入	784,013	3,310,622
有形固定資産の取得による支出	△62,754	△41,554
無形固定資産の取得による支出	△145,143	△107,825
敷金及び保証金の回収による収入	7,188	7,574
敷金及び保証金の差入による支出	△5,318	△91,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	451,403	3,077,286
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,992,081	△2,180,142
自己株式の取得による支出	△282	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,992,364	△2,180,467
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,479,007	6,537,820
現金及び現金同等物の期首残高	53,434,601	58,082,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,913,608	64,620,262

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第3四半期累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

当社は、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

当社は、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」（ソリューションテクノロジー及び関連製品）と「サービス」についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

四半期販売の状況

（単位：千円・％）

品 目	前第3四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）		当第3四半期累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	6,377,024	45.6	7,794,829	49.2	1,417,805	22.2
ソリューションテクノロジー	4,122,478	29.5	5,313,334	33.5	1,190,856	28.9
関連製品	2,254,546	16.1	2,481,495	15.7	226,949	10.1
サービス	7,603,488	54.4	8,041,750	50.8	438,262	5.8
合 計	13,980,513	100.0	15,836,580	100.0	1,856,067	13.3